

第4回「ほうかご国際文化部」を開催しました

中学生と高校生を対象とした国際交流プログラム「ほうかご国際文化部」の第4回が9月14日にありました！

講師はモンゴル出身のジャギーさん。はじめはアイスブレイクにシャガイ（羊のくるぶしの骨）を使って占いをしました。モンゴルの子どもたちはシャガイを使っていろいろな遊びをするそうです。

それから、やさしい英語でモンゴルのことを教えてくださいました。最近聞く「ノマドワーカー」の「ノマド」の意味、みなさんは知っていますか？遊牧民（Nomad：ノマド）を意味する言葉なんですよ。

ジャギーさんは、牛乳から作られたモンゴルのお菓子、小さなゲルの置き物、モンゴルのお札などいろいろなものを持ってきてくれて、みんなでモンゴルの雰囲気をつぶりと感じました。

ジャギーさん、どうもありがとうございました！



1つのシャガイには、羊、やぎ、馬、ラクダの4つの面があります。モンゴルらしいですね！
4つのシャガイを同時にサイコロのように振って、出た面で運勢を占います。

ジャギーさんとテーブルを囲んでモンゴルのお話を聞きます。みなさん食べ物に興味深々でした。どれも美味しそうですね！

